

2026年(令和8年)

2/10

No. 1338

東京都トラック時報

昭和43年8月16日 第三種郵便物認可 毎月2回(10・25日)発行 1部 90円(送料別)

機関紙

一般社団法人
発行所 東京都トラック協会

〒160-0004 東京都新宿区四谷3-1-8
(東京都トラック総合会館)

☎(03)3359-6251(代表)

☎(03)3359-4134(総務部広報・情報G)

【ホームページアドレス】<https://www.totokyo.or.jp/>

ドラコン

東ト協
第47回

技能の向上と、都民に信頼されるプロドライバーとしての意識高揚を目的に実施しているもの。全日本トラ

【学科競技】
4月23日(木) 13時30分

【実科競技】
5月31日(日) ①トレ

表彰式
6月8日

協業部交通・環境G(☎03・3359・3618)

2月18日から 出場選手受付開始

東ト協は2月18日から、東ト協ホームページ(HP)で令和8年度・第47回「東ト協ドライバー・コンテスト」の出場選手受付を開始する。受付期間は3月18日まで。同コンテストは、警視庁交通部との共催により、安全運転等に関する知識・技能の向上と、都民に信頼されるプロドライバーとしての意識高揚を目的に実施しているもの。全日本トラ

【実科競技】
5月31日(日) ①トレ

表彰式
6月8日

協業部交通・環境G(☎03・3359・3618)

プロドライバー日本一への登龍門

58回全国トラック
ドライバー・コン

【表彰式】
6月8日(月) 14時30分

協業部交通・環境G(☎03・3359・3618)

緑ナンバートラックへの思いが作品に



最優秀賞は前田果歩さん(浜川小学校)

東京都トラック協会(水野功会長)は2月1日、東ト総合会館7階大会議室で、令和7年度「トラックの日」児童絵画作品コンテスト表彰式を開催した。会場には、安全や環境、感謝の気持ち、未来や夢など、緑ナンバートラックに込められた思いを描いた子どもたちの作品が展示され、来場された保護者や家族、トラック運送事業者の関係者にその思いを伝えた。

表彰式には、入賞児童とその保護者らが出席。最優秀賞(東京運輸支局長賞の前田果歩さん(品川区立浜川小学校)を)は川区立浜川小学校)を)は

はじめ、優秀賞・佳作入賞の児童21人(うち15人出席)に、表彰状と副賞(図書カード)が贈られた。今年度のコンテストには、都内の小学校などから537点の応募があり、児童絵画作品コンテスト選考委員会による審査・選考の結果、最優秀賞の東京運輸支局長賞(1点)、優秀賞(低・中・高学年の部各3点の計9点)、佳作(11点)が決定した(入賞者・入賞作品は1月10日号に掲載)。

開催に当たり、水野会長は「どの作品も大変伸びやかでダイナミックに描かれており、感動した」と感想を述べるとともに

に、「緑ナンバートラックは、生活に必要なさまざまな荷物を、環境に優しく安全に運んでいる」と説明。4月から自転車の交通ルールが変わることにも触れ、「ルールを守り、正しく自転車に乗って、事故に遭わないよう注意してほしい」と呼びかけ、「皆さんの生活を守る大切な荷物を運んでいる緑ナンバートラックを、これからも応援してほしい」とメッセージを贈った。

続いて、東運支局の織田陽一支局長が、「皆さんの想像力と、それを表現する創造力が素晴らしい。これからも多くのことを想像し、創造しながら、さまざまなこと

にチャレンジしてほしい。このコンテストが交通安全や環境保全につながることを期待している」と祝辞を述べた。

表彰では、水野会長が佳作入賞者を表彰。優秀賞は、東ト協会長賞を水野会長、広報・情報委員長賞を鎮目隆雄委員長(副会長)、運輸安全委員長賞を中村克敏副委員長がそれぞれ授与。最優秀賞は、織田支局長が贈呈した。

最優秀賞を受賞した前田さんは、司会者の質問に「うれしいです」と喜びを伝え、トラックが通った後に花が咲くという

想像力豊かな作品について、「お花が好きなので、お花を咲かせるトラックがあつたらいいなと思う」と述べ、花を描く際に綿棒を使ったアイデアも披露し、創造力あふれる作品となった。

表彰後には、入賞児童が水野会長や織田支局長をはじめ、来賓とともに記念撮影を行った。

なお、同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東運支局、東京都教育委員会、NPO法人東京都子ども会連合会の後援、TOKYO FMの協力により開催。

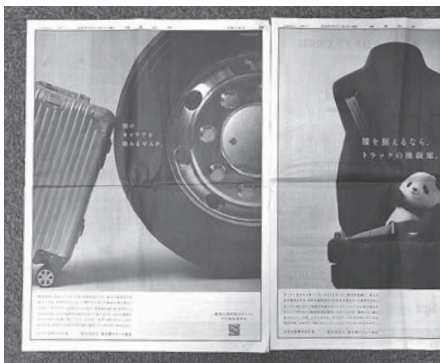
読売新聞全面広告第2・3弾

東ト協は1月24・31日付の『読売新聞』(都内・多摩版)に、トラック運送業界が抱えるトラック・ドライバー不足の実情を訴え、新たな人材確保を呼びかける3週連続シリーズ全面広告の第2・3弾を掲載した(写真)。

第2回の広告は「腰を据えるなら、刻化しているトラック・ドライバー不足の実情を訴求。『日本という国にはエッセンシャル・ワーカーが欠かせない。』というメッセージを通じて、トラック輸送が果たす社会的役割を示した。

第3回の広告は、「別の大きな対比させることで、キャリアアップの選択肢としてプロトラック・ドライバーを提案する内容となっている。『自らの意思でやりたい仕事に飛びこんで、人生を一步ずつ切りひらく。さて、あなたは、あなたが自身の現在地に満足していますか。ほんとうに。』との問いかけに加え、東ト協会員事業者の求人情報にアクセスできる二次元コードを掲載。その上には「職業の選択肢のひとつにぜひ物流業界を」と掲げ、新たな人材の募集を呼びかけている。

新たな人材募集呼びかけ



新たな人材の募集を呼びかけている。

紙面あんない

東京都/駐車スペース提供事業
フェスタ2026実行PWG始動
6支部が合同就職説明・面接会
東京トラック業界新年交歓会を開催
全ト協、飲酒運転根絶へ決議

7 5 4 2 2

古紙パルプ含有率80%再生紙を使用 R20

適正原価に関する 実態調査(義務)

国交省

態を把握することを目指すとしている。

国土交通省は、すべての貨物自動車運送事業者を対象に「トラック運送事業の適正原価に関する実態調査」を実施している。回答期限は2月20日まで(霊柩車を除く特殊車両は同27日まで)。本調査は、貨物自動車運送事業法の改正の趣旨を踏まえ、適正原価の設定に当たってトラック運送事業者の原価構造の実

回答期限2月20日(特殊車両27日)

詳細は、同調査Webサイトを参照。調査に関するQ&Aや、解説動画を公開している。



運転のおしごとフェア

東京都トラック協会
墨田支部(香川県司支部
長)・荒川支部(金原裕一支部
長)・台東支部(松本有司
支部長)・城東支
部(浅野利幸支部
長)・深川支部(高
橋圭一郎支部長)
は2月2日、墨田
区のすみだ産業会
館で、ハローワー
ク墨田・木場・足
立・上野との共催
による「運転のお
しごとフェア」物
流業合同説明・面
接会を開催した。
会場には各支部の
会員事業者15社が



墨田・葛飾・荒川・台東・城東・深川支部

ブースを出展し、ハロー
ワークでの事前予約と当
日来場者を合わせて80人
超の求職者が参加した。
フェアではまず、「ト
ラック業界入門セミナ
ー」を実施。東ト協業務
部交通・環境Gの前川宣
将副参事が講師を務め、
座学形式でトラック運送
業界の現状を説明した。
少子高齢化や働き方改
革「2024年問題」な
どを背景に、トラックド
ライバー不足が深刻化し
ている状況を紹介すると
ともに、仕事内容や免許
制度について解説。あわ
せで、協会による免許取
得支援制度に触れ、上位
免許の取得をはじめ、ス
キルアップできる点をア
ピールした。
セミナー終了後には、
会場には各支部の
会員事業者15社が

合同説明・面接会を開
催。出展した15事業者が
参加者に向けて企業PR
を行った。佐川急便(墨
田・荒川)、誠和(城東)、
誠和トラスト(城東)、田
中運送(台東)、マルコ運
輸(墨田)、結城運輸倉庫
(深川)、弘立倉庫(葛飾)、
丸才奥田商店(深川)、昭
和エクスプレス(城東)、
中央急送(墨田)、日本託
送(台東)、サイショウエ
クスプレス(深川)、金原
運送店(荒川)、小高商事
(荒川)、東都運搬社(墨
田)の代表者や採用担当
者が、それぞれ自社の特
徴や働き方につ
いて説明。その
後、参加者は個別の相談・
面接会で採用担当者らと
話をした。
東ト協では、人材確保
促進に向けた新たな取り
組みとして、東京労働局、
ハローワーク、各支部と
の3者連携によるドライ
バー募集説明会を実施し
ており、今後も会員事業
者の人材確保を支援して
いく方針だ。



全ト協 改正トラック法リーフレット
全日本トラック協会
同法は、トラックドラ
イバーの適切な賃金水準
の確保と経済的・社会的
のポイントを
解説した、ト
ラック運送事
業者向けのリ
ーフレットを
制作した(本
号に同封・写
真)。
改正トラック法
(貨物自動車運送事業法)
が施行されます
改正のポイント
1 貨物交付義務・実運送時間管理の作成義務の
対象者が「利用運送」にも拡大
2 荷役設備を
2箇条までに制限
3 白トラ利用の罰則強化
国土交通省 JETRO トラック協会

地位の向上などを目的と
して、昨年6月に改正さ
れたもので、①書面交付
義務・実運送時間管理簿
の作成義務の対象を「利
用運送」にも拡大、②再
委託回数を2回までに制
限(努力義務)、③白トラ
利用の罰則の強化――の
3点が4月1日から施行
されるため、これらの改
正内容について図解を用
いて分かりやすく
説明している。
なお、同リーフ
レットは東ト協の
ホームページ(ト
ラック適正化二法
関連)にも掲載さ
れている。

改正のポイントを紹介
全ト協 改正トラック法リーフレット
全日本トラック協会
同法は、トラックドラ
イバーの適切な賃金水準
の確保と経済的・社会的
のポイントを
解説した、ト
ラック運送事
業者向けのリ
ーフレットを
制作した(本
号に同封・写
真)。
改正トラック法
(貨物自動車運送事業法)
が施行されます
改正のポイント
1 貨物交付義務・実運送時間管理の作成義務の
対象者が「利用運送」にも拡大
2 荷役設備を
2箇条までに制限
3 白トラ利用の罰則強化
国土交通省 JETRO トラック協会

改正のポイントを紹介
全ト協 改正トラック法リーフレット
全日本トラック協会
同法は、トラックドラ
イバーの適切な賃金水準
の確保と経済的・社会的
のポイントを
解説した、ト
ラック運送事
業者向けのリ
ーフレットを
制作した(本
号に同封・写
真)。
改正トラック法
(貨物自動車運送事業法)
が施行されます
改正のポイント
1 貨物交付義務・実運送時間管理の作成義務の
対象者が「利用運送」にも拡大
2 荷役設備を
2箇条までに制限
3 白トラ利用の罰則強化
国土交通省 JETRO トラック協会

協会日誌
1月16〜31日
19日 鉄鋼専門部会新年
賀詞交歓会
20日 視野障害による事
故防止対策セミナー▽
青年部正副本部長会議
21日 物流経営士課程▽
海上コンテナ専門部会
役員会
22日 女性部女性活躍推
進に関する東京都産業
労働局との意見交換会
▽同正副本部長会議▽
同幹事会
23日 正副会長会▽東京
トラック業界新年交歓
会
24日 初任運転者特別講
習
27日 鉄鋼専門部会安全
環境委員会▽青年部幹
事会
28日 物流経営士課程▽
引越専門部会役員会▽
食糧専門部会米穀委員
会
29日 トラックフェスタ
TOKYO2026実
会
東ト協事務局人事
(2月1日)
採用Ⅱ業務部教育研
修・輸送グループ長、大
竹直人
18日(火) 13時30分Ⅱ物流
経営士課程(東ト総合
会館)
19日(水) 14時Ⅱ外国人特
定技能制度に関する説
明会(東ト総合会館/
Web併用)
20日(木) 13時30分Ⅱトラ
ック運送事業者のため
の人材確保・労働環境
改善セミナー(東ト総
合会館/Web併用)
25日(火) 13時30分Ⅱ物流
経営士課程(東ト総合
会館)

日程ボード
2月16〜28日
16日(月) 15時Ⅱ関東・甲
信越重量部会迅速化
(トラック)ワーキン
ググループ(東ト総合
会館/Web併用)
17日(火) 13時30分Ⅱ鉄鋼
専門部会トラレーラの安
全対策フォーラム(東
ト総合会館/Web併
用)
18日(水) 13時30分Ⅱ物流
経営士課程(東ト総合
会館)
19日(木) 14時Ⅱ外国人特
定技能制度に関する説
明会(東ト総合会館/
Web併用)
20日(金) 13時30分Ⅱトラ
ック運送事業者のため
の人材確保・労働環境
改善セミナー(東ト総
合会館/Web併用)
25日(火) 13時30分Ⅱ物流
経営士課程(東ト総合
会館)

トラック運送事業研修会

東ト協第1ブ
ロック(千代田・
中央・港支部)
は1月30日、中
央区の銀座プロ
ツサムで「トラ
ック運送事業研
修会」を開催し、
三支部の会員ら
が多数参加し
た。研修会では、
共栄システム代表取
締役の前田繁孝氏が
「トラック新法と点
呼について」と題し
て講演した。
開催に当たり、澤
幡淳中央支部長があ
いさつし、「改正物流
法が施行され、トラ
ック適正化二法の施
行に向けて適正原価
の実態調査が行われ
ている。標準的運賃
による運賃交渉は、



第1ブロック(千代田・中央・港支部)

2024年問題や深刻化
するドライバー不足、取
引の適正化などの課題に
対応するため、物流効率
化法(物効法)と貨物自
動車運送事業法(事業法)
の改正内容を解説した。
物効法については、荷
主や物流事業者に対し、
荷待ち時間や荷役時間の
短縮、積載率向上などに
取り組むため、特定事業
者に義務を課す制度であ
ると説明。これらの取り
組みを進める上で、荷主
の協力や対応が努力
義務とされている
点を強調した。
事業法につい
ては、運送契約締
結時の書面交付義務
、実運送体制管
理簿の作成・保存
、利用運送の健全化
措置、運送利用管
理規程の作成など
を解説。運送会社

間での取引における商慣
習の見直しとして運賃交
渉の事例を紹介し、交渉
の重要性を訴えた。また、
改正法は昨年4月に施行
されていることから、「各
帳票の記載に誤りがあつ
ても、記録・保存を継続
することが重要」と指摘
した。
トラック適正化二法で
検討されている適正原
価、許可の5年更新制、
物流業務効率化について
も、現時点での情報に基
づいて解説。実運送事業
者が適正原価を収受する
ためには、元請事業者や
荷主の運賃が下から積み
上がる形になるか、標準
的運賃との差額がどの程
度になるかなど、現在実
施中の実態調査の結果を
注視する必要があるとし
た。更新制の導入により
事業者数の減少が見込ま
れる中、荷主側では実運

東ト協は
1月20日、
東ト総合会
館7階大会
議室で「視
野障害による
事故防止対
策セミナー」
(Web併用)を開催
し、日本視野画像学会モ
ビリティと視機能委員会
委員長で、たじみ岩瀬眼
科院長の岩瀬愛子氏が
「視野障害による事故の
危険性 その対策につ
いて」をテーマに講演した。
セミナーでは、視
力が保たれていても
送が可能な事業者の囲
込みが進む傾向にあると
し、更新を見据えたDX
化への対応が不可欠にな
ると助言した。
さらに、多様化する点
呼として、対面・自動・
遠隔・ITの各点呼のポ
イントを紹介。新基準の
点呼のみですべてが完結
するものではなく、コス
ト面などを考慮し、従来
の対面点呼との併用が望
ましいとした上で、安全
確保の観点から「生きた
点呼」の実施を提案した。
視野が欠けているケー
スが少ないことに加え、
最も多い、視野障害
の原因である緑
内障は自覚症状
が乏しく、本人
が気づかないま
ま進行しやすいと説
明。また、視野の異
常は目の病気だけ
なく、視神経や脳の
病気が原因となる場
合もあると指摘した。
視野障害は、歩行
者や自転車、見落と
す危険性があるとし
た。更新制の導入により
事業者数の減少が見込ま
れる中、荷主側では実運

東ト協は
1月20日、
東ト総合会
館7階大会
議室で「視
野障害による
事故防止対
策セミナー」
(Web併用)を開催
し、日本視野画像学会モ
ビリティと視機能委員会
委員長で、たじみ岩瀬眼
科院長の岩瀬愛子氏が
「視野障害による事故の
危険性 その対策につ
いて」をテーマに講演した。
セミナーでは、視
力が保たれていても
送が可能な事業者の囲
込みが進む傾向にあると
し、更新を見据えたDX
化への対応が不可欠にな
ると助言した。
さらに、多様化する点
呼として、対面・自動・
遠隔・ITの各点呼のポ
イントを紹介。新基準の
点呼のみですべてが完結
するものではなく、コス
ト面などを考慮し、従来
の対面点呼との併用が望
ましいとした上で、安全
確保の観点から「生きた
点呼」の実施を提案した。
視野が欠けているケー
スが少ないことに加え、
最も多い、視野障害
の原因である緑
内障は自覚症状
が乏しく、本人
が気づかないま
ま進行しやすいと説
明。また、視野の異
常は目の病気だけ
なく、視神経や脳の
病気が原因となる場
合もあると指摘した。
視野障害は、歩行
者や自転車、見落と
す危険性があるとし
た。更新制の導入により
事業者数の減少が見込ま
れる中、荷主側では実運

東ト協は
1月20日、
東ト総合会
館7階大会
議室で「視
野障害による
事故防止対
策セミナー」
(Web併用)を開催
し、日本視野画像学会モ
ビリティと視機能委員会
委員長で、たじみ岩瀬眼
科院長の岩瀬愛子氏が
「視野障害による事故の
危険性 その対策につ
いて」をテーマに講演した。
セミナーでは、視
力が保たれていても
送が可能な事業者の囲
込みが進む傾向にあると
し、更新を見据えたDX
化への対応が不可欠にな
ると助言した。
さらに、多様化する点
呼として、対面・自動・
遠隔・ITの各点呼のポ
イントを紹介。新基準の
点呼のみですべてが完結
するものではなく、コス
ト面などを考慮し、従来
の対面点呼との併用が望
ましいとした上で、安全
確保の観点から「生きた
点呼」の実施を提案した。
視野が欠けているケー
スが少ないことに加え、
最も多い、視野障害
の原因である緑
内障は自覚症状
が乏しく、本人
が気づかないま
ま進行しやすいと説
明。また、視野の異
常は目の病気だけ
なく、視神経や脳の
病気が原因となる場
合もあると指摘した。
視野障害は、歩行
者や自転車、見落と
す危険性があるとし
た。更新制の導入により
事業者数の減少が見込ま
れる中、荷主側では実運

東ト協は
1月20日、
東ト総合会
館7階大会
議室で「視
野障害による
事故防止対
策セミナー」
(Web併用)を開催
し、日本視野画像学会モ
ビリティと視機能委員会
委員長で、たじみ岩瀬眼
科院長の岩瀬愛子氏が
「視野障害による事故の
危険性 その対策につ
いて」をテーマに講演した。
セミナーでは、視
力が保たれていても
送が可能な事業者の囲
込みが進む傾向にあると
し、更新を見据えたDX
化への対応が不可欠にな
ると助言した。
さらに、多様化する点
呼として、対面・自動・
遠隔・ITの各点呼のポ
イントを紹介。新基準の
点呼のみですべてが完結
するものではなく、コス
ト面などを考慮し、従来
の対面点呼との併用が望
ましいとした上で、安全
確保の観点から「生きた
点呼」の実施を提案した。
視野が欠けているケー
スが少ないことに加え、
最も多い、視野障害
の原因である緑
内障は自覚症状
が乏しく、本人
が気づかないま
ま進行しやすいと説
明。また、視野の異
常は目の病気だけ
なく、視神経や脳の
病気が原因となる場
合もあると指摘した。
視野障害は、歩行
者や自転車、見落と
す危険性があるとし
た。更新制の導入により
事業者数の減少が見込ま
れる中、荷主側では実運

東ト協は
1月20日、
東ト総合会
館7階大会
議室で「視
野障害による
事故防止対
策セミナー」
(Web併用)を開催
し、日本視野画像学会モ
ビリティと視機能委員会
委員長で、たじみ岩瀬眼
科院長の岩瀬愛子氏が
「視野障害による事故の
危険性 その対策につ
いて」をテーマに講演した。
セミナーでは、視
力が保たれていても
送が可能な事業者の囲
込みが進む傾向にあると
し、更新を見据えたDX
化への対応が不可欠にな
ると助言した。
さらに、多様化する点
呼として、対面・自動・
遠隔・ITの各点呼のポ
イントを紹介。新基準の
点呼のみですべてが完結
するものではなく、コス
ト面などを考慮し、従来
の対面点呼との併用が望
ましいとした上で、安全
確保の観点から「生きた
点呼」の実施を提案した。
視野が欠けているケー
スが少ないことに加え、
最も多い、視野障害
の原因である緑
内障は自覚症状
が乏しく、本人
が気づかないま
ま進行しやすいと説
明。また、視野の異
常は目の病気だけ
なく、視神経や脳の
病気が原因となる場
合もあると指摘した。
視野障害は、歩行
者や自転車、見落と
す危険性があるとし
た。更新制の導入により
事業者数の減少が見込ま
れる中、荷主側では実運

東ト協は
1月20日、
東ト総合会
館7階大会
議室で「視
野障害による
事故防止対
策セミナー」
(Web併用)を開催
し、日本視野画像学会モ
ビリティと視機能委員会
委員長で、たじみ岩瀬眼
科院長の岩瀬愛子氏が
「視野障害による事故の
危険性 その対策につ
いて」をテーマに講演した。
セミナーでは、視
力が保たれていても
送が可能な事業者の囲
込みが進む傾向にあると
し、更新を見据えたDX
化への対応が不可欠にな
ると助言した。
さらに、多様化する点
呼として、対面・自動・
遠隔・ITの各点呼のポ
イントを紹介。新基準の
点呼のみですべてが完結
するものではなく、コス
ト面などを考慮し、従来
の対面点呼との併用が望
ましいとした上で、安全
確保の観点から「生きた
点呼」の実施を提案した。
視野が欠けているケー
スが少ないことに加え、
最も多い、視野障害
の原因である緑
内障は自覚症状
が乏しく、本人
が気づかないま
ま進行しやすいと説
明。また、視野の異
常は目の病気だけ
なく、視神経や脳の
病気が原因となる場
合もあると指摘した。
視野障害は、歩行
者や自転車、見落と
す危険性があるとし
た。更新制の導入により
事業者数の減少が見込ま
れる中、荷主側では実運

東ト協は
1月20日、
東ト総合会
館7階大会
議室で「視
野障害による
事故防止対
策セミナー」
(Web併用)を開催
し、日本視野画像学会モ
ビリティと視機能委員会
委員長で、たじみ岩瀬眼
科院長の岩瀬愛子氏が
「視野障害による事故の
危険性 その対策につ
いて」をテーマに講演した。
セミナーでは、視
力が保たれていても
送が可能な事業者の囲
込みが進む傾向にあると
し、更新を見据えたDX
化への対応が不可欠にな
ると助言した。
さらに、多様化する点
呼として、対面・自動・
遠隔・ITの各点呼のポ
イントを紹介。新基準の
点呼のみですべてが完結
するものではなく、コス
ト面などを考慮し、従来
の対面点呼との併用が望
ましいとした上で、安全
確保の観点から「生きた
点呼」の実施を提案した。
視野が欠けているケー
スが少ないことに加え、
最も多い、視野障害
の原因である緑
内障は自覚症状
が乏しく、本人
が気づかないま
ま進行しやすいと説
明。また、視野の異
常は目の病気だけ
なく、視神経や脳の
病気が原因となる場
合もあると指摘した。
視野障害は、歩行
者や自転車、見落と
す危険性があるとし
た。更新制の導入により
事業者数の減少が見込ま
れる中、荷主側では実運

歴史的な転換期を迎え 好機逃さず前進へ



東京トラック業界 新年交歓会

東京都トラック協会をはじめ、東京都トラック交通連合会・陸上貨物同組合連合会・陸上貨物運送事業労働災害防止協会東京都支部会の業界4団体は1月23日、千代田区の帝国ホテル東京で令和8年「東京トラック業界新年交歓会」を開催した。

冒頭、主催者を代表して東ト協の水野功会長が新年あいさつを述べた。**(別掲参照)**水野会長は、国土交通省が適正原価の算定に向けて実施してい

る、全国のトラック運送事業者を対象とした書面調査について、会員事業者に対し、期日までの確実な回答を呼びかけた。

同日は、東京都の小池百合子知事をはじめ来賓が多数出席し、祝辞を寄せた**(別掲参照)**。また、新年交歓会に先立ち、財務大臣の片山さつき参議院議員が来場し、あいさつを述べた。

来賓あいさつに続き、東ト協連の椎名幸子会長が乾杯の発声を行い、会場は歓談に移った。



岡野氏



小池氏



増田氏



工藤氏



寺岡氏

東京都の小池百合子知事は、「都民生活を支える物流の維持に多大なご尽力をいただいている」とし、昨年、島しょ地域で台風が短期間に2度襲来した際の迅速な救援物資輸送などの対応について感謝と敬意を表した。

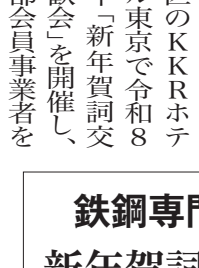
また、物流業界を取り巻く環境として円安や燃料価格の動向に触れ、4月1日に予定されている軽油引取税の暫定税率廃止や担い手不足をはじめとする課題について、今後も業界と連携しながら

対応していく考えを述べた。国土交通省の岡野まさ子大臣官房総括審議官は、物流が国民生活や経済活動を支える重要な社会インフラであり、トラック運送事業がその中核を担っているとして、物

また、改正物流法が4月から全面施行されることから、中長期計画の策定や物流統括管理者(CLO)の設置を通じ、生産性向上と商慣行の見直しを進めるとともに、ト

続いて、警視庁交通部交通総務課の工藤忠雄交通安全担当管理官が、遠藤顕史交通部長のあいさつを代読し、「昨年の都内の交通事故死者数は134人と、前年から12人減少したものの、全国で神奈川県に次いで2番目に多く、依然として厳しい状況が続いている。警

視庁では「世界一の交通安全都市・東京」の実現を目指し、横断歩行者妨害や速度超過など重大事故に直結する違反への指導取締りの強化、飲酒運転根絶や交通安全啓発活動に取り組む」とし、実現への協力を呼びかけた。



鉄鋼専門部会 新年賀詞交歓会

冒頭あいさつで三村部会長は、人件費の高騰や車両費をはじめとする諸経費の上昇に加え、ドライバーの高齢化が急速に進んでいる現状に触

加した。来賓あいさつでは、関東地方整備局道路部の大嶋精一交通対策課長が、老朽化が進む道路の長寿命化を図る観点から、重量を違法に超過した大型車への対策として広報活動を行っている一方、特

保と適正な運賃収受の重要性を訴えた。来賓あいさつでは、関東地方整備局道路部の大嶋精一交通対策課長が、老朽化が進む道路の長寿命化を図る観点から、重量を違法に超過した大型車への対策として広報活動を行っている一方、特

あわせて、同法が実効性を伴って運用され、すべて実現した暁には、業界環境は大きく改善し、持続可能な物流体制の構築やドライバーの待遇・労働条件の向上につながる

と強調。全ト協として、昨年設置した対策委員会を中心に、実効性のある制度実現に全力で取り組む考えを示した。

水野会長あいさつ(要旨)

令和8年の新春にあたり、東京トラック業界新年交歓会の主催者を代表いたしまして、謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、トラック運送業に関する重要な法律の間の商慣行を見直し、荷待ち・荷役時間の削減や積載率の向上などを図るとともに、多重下質の向上などを目的とした「トラック適正化二法」が成立しました。これにより、「委託次數の制限」と「違法な白トラ利用に

係る荷主等の取り締まり」は、本年4月1日から施行されます。また、「事業許可の更新制度」と「適正原価の遵守義務」は、10年頃施行の見込みです。

そして、昨年11月には、与野党6党の合意により暫定税率廃止法が成立し、長年の懸案であった軽油引取税の暫定税率の廃止に因り、運輸事業振興助成交付金の維持に向けた法案が超党派による議員立法として臨時国会に提出されましたが、今

般の衆議院の解散により廃案となる見通しのため、国会議員の皆様には、法案の再提出および早期成立にご理解とご協力をお願いいたします。

さらに、国土交通省では、昨年の10月と11月をトラック・物流Gメンによる「集中監視月間」と位置づけ、適正な取引を阻害する疑いのある荷主企業や元請事業者に対する監視を強化しました。

トラック運送業界にこれまでにない大きな追い風が吹いている中、事業者の安心の確保が重要であるため、昨年はあまり良い所存です。

物流に対する社会の理解が進み、トラック運送業界は歴史的な転換期を迎えています。東京のトラック関係4団体におきましても、この好機を逃すことなく、これまで以上に緊密な連携を図りながら、トラックドライバーの待遇改善と業界の社会的地位向上の実現のために努力を重ねてまいります。

交歓会は、仲原剛毅副部会長の発声で乾杯し、歓談の後、竹之上誠直副部会長があいさつに立ち、三本締めで閉会した。



水野会長

待ち・荷役時間の削減や積載率の向上などを図るとともに、多重下質の向上などを目的とした「トラック適正化二法」が成立しました。これにより、「委託次數の制限」と「違法な白トラ利用に

6月には、トラックドライバーの適切な賃金の確保とトラック運送業界の質の向上などを目的とした「トラック適正化二法」が成立しました。これにより、「委託次數の制限」と「違法な白トラ利用に

ドライバーの待遇改善と 業界の社会的地位向上へ

この点、全日本トラック協会では、寺岡洋一会長を委員長とする「トラック適正化二法対策委員会」が新たに設置されました。私も委員に任命され、私共が超党派による議員立法として臨時国会に提出されましたが、今

税の暫定税率が本年4月1日に廃止されます。軽油引取税の暫定税率の廃止に因り、運輸事業振興助成交付金の維持に向けた法案が超党派による議員立法として臨時国会に提出されましたが、今

結果を残せなかったことから、本年は昨年以上に安全教育と健康管理の徹底を図るとともに、交通事故および労働災害の防止に取り組んでまいります。

物流に対する社会の理解が進み、トラック運送業界は歴史的な転換期を迎えています。東京のトラック関係4団体におきましても、この好機を逃すことなく、これまで以上に緊密な連携を図りながら、トラックドライバーの待遇改善と業界の社会的地位向上の実現のために努力を重ねてまいります。

交歓会は、仲原剛毅副部会長の発声で乾杯し、歓談の後、竹之上誠直副部会長があいさつに立ち、三本締めで閉会した。

交歓会は、仲原剛毅副部会長の発声で乾杯し、歓談の後、竹之上誠直副部会長があいさつに立ち、三本締めで閉会した。

交歓会は、仲原剛毅副部会長の発声で乾杯し、歓談の後、竹之上誠直副部会長があいさつに立ち、三本締めで閉会した。

鋼材輸送の課題を共有



鋼材輸送は高度な技能を要する上、シート掛けなど身体的負担の大きい作業も多く、若年層から敬遠されがちな職種である」と指摘。その上で、輸送力の維持・確保に向け、他産業並みの賃金水準への引き上げや労働条件の改善、重労働の軽減に取り組む考えを示し、再生産可能な運賃の確保を訴えた。

荷役作業時の労災防止へ

ガイドライン遵守に協力

東京労働局と陸上貨物運送事業労働災害防止協会(陸災防)東京都支部は1月28日、東ト総合会館で、令和7年度「荷

主等と陸運事業者との連携・協力促進協議会」を開催した。

冒頭、東労局の川又修司労働基準部長があいさつし、「本協議会

は、陸上貨物運送事業における労働災害の減少を目的

に、荷主と陸運事業者が荷役作業の安全対策ガイドラ

インなどの普及促進を図るもので、今回で7回目の開催となる」と述べ、

さらに、令和7年荷役作業の安全対策ガイドライン、職

場における腰痛予防対策指



荷主等と陸運業との連携・協力促進協議会

の陸上貨物運送事業における労災発生状況(速報値)に触れ、死亡者数、死傷者数ともに前年より減少した一方、荷役作業中の災害が多い現状を指摘し、構内作業や設備改善など労働災害防止への一層の協力を呼びかけた。

協議会では、同局労働基準部の三浦玲安全課長が、7年(速報値)の労働災害発生状況や死亡災害事例、荷役作業時における労働災害の発生状況などについて説明。第14次東労局労働災害防止計画の目標達成に向け、改正労働安全衛生関係法令や荷役作業の安全対策ガイドライン、職

場における腰痛予防対策指

針などを解説した。続いて、同部の神子沢啓司監督課長が、トラックドライバーの働き方改革推進に向けた取り組みを説明。トラック事業者への自主点検を通じて現状と課題を把握するとともに、商慣行の改善に向け、労働基準監督署による荷主への要請、東労局と関東運輸局による合同パトロール、関係省庁と連携した荷主への要請、動画配信などの広報活動を展開しているとした。

また、人材確保支援として、ハローワークを通じて求人支援を積極的に行っていることを紹介した。

このほか、東京運輸支局の小林聡首席運輸企画専門官が、改正物流法やトラック適正化二法の概要、トラック・物流Gメンの活動状況を説明。適正化二法では、委託次數の制限や違法な「白トラ」に係る荷主等への取り締まりが今年4月に施行される一方、許可更新制や適正原価の遵守義務は、施行に向けて現在検討段階にあるとした。

さらに、陸災防東京都支部会の山崎正専務理事(東京都トラック協会専務理事)が働き方改革関連法への対応、人材確保、標準的運賃・料金収受の促進などの取り組みについて説明。「運送申込・書面化アプリ」説明会を

はじめ各法改正の説明会を開催し、事業者の対応へのサポートや周知徹底のための広報活動などを報告した。その後、荷主と陸運事業者との連携・協力の促進について意見交換が行われた。

なお、協議会には東労局と東運支局のほか、陸運業界側から東ト協、荷主側から東京経営者協会、東京都中小企業団体中央会などの経済団体、東京労働基準協会連合会、陸災防東京都支部会をはじめとする労災防止団体関係者らが出席した。

死亡・死傷前年比で減少
「転倒」増加傾向顕著に

陸運業

厚生労働省の労働災害発生状況(速報値)によると、令和7年(1~12月累計・速報値)の陸上貨物運送事業における死亡者数は68人で、前年同期比29人(29・9%)の大幅な減少となった。死者数は(休業4日以上)は1万4202人で、同827人(5・5%)減少した(以下、増減は前年同期比)。

一方、死亡災害では、「交通事故(道路)」が41人で4人(10・8%)増加し、死亡災害全体の約6割を占めた。次いで多い「墜落・転落」が9人で、11人(55・0%)の大幅な減少となった。死者数は(休業4日以上)は1万4202人で、同827人(5・5%)減少した(以下、増減は前年同期比)。

労災発生状況
厚労省 7年(速報値)

死傷災害をみると、「墜落・転落」36人、3・

幅な減少となっている。全産業では、死傷者数は12万1463人で前年同期比1349人(1・1%)減少し、死亡者数も634人で同40人(5・9%)減少した。

首都高 ETC専用入口拡大

首都高道路は1月26日、料金所のETC専用入口料金をETC専用とし、累計134か所に拡大する。これにより、首都高全178料金所の7割強がETC専用となる。

また、本線料金所の利用のあり方に係る検討も進め、4号新宿線の永福本線料金所では、料

金収受に伴う加減速を解消するモデルケースとして、2026年度から具体的な計画・設計に向けた調整を行うとしている。

ETC専用化工事に伴う通行止めのお知らせ

同社は2月20日20時から3月31日23時まで(予定)、ETC専用入口の拡大に向けた料金所のリニューアル工事に伴い、宝

26年度134か所に

所では、料

東京マラソン
3月1日開催

東京マラソン財団は3月1日、「東京マラソン2026」の開催に伴い、都心部のコースおよび直近道路で長時間の交通規制を行う。

都心部で交通規制

スタート地点(東京都庁周辺)では午前6時、10時15分頃まで、フィニッシュは、東京マラソン2026の公式サイトを参照。

漫然運転を防止するための
睡眠対策マニュアル

「ドライバーの眠りとその問題」

関交協では運送事業者の皆様とともに、交通事故削減を最重要課題と位置づけ、様々な事故防止事業に取り組んでおります。

背景(国交省)

- ・多重追突事故の原因が指導不足と公表
- ・睡眠時無呼吸症候群(SAS)マニュアルの改訂
- ・スクリーニング検査実施の有無の報告義務

対策

- ・医学博士 高橋正也氏監修
- 『漫然運転を防止するための睡眠対策マニュアル「ドライバーの眠りとその問題」』作成

活用方法

- ・事業者の安全教育に活用
- ・ドライバー指導教材として利用
- ・漫然運転防止→事故削減



ご希望の方は、関交協・安全推進部まで
TEL: 03-5337-1754
MAIL: ansui@kankokyo.or.jp



QRコードから
すぐにお問い合わせ



関東交通共済協同組合



飲酒運転根絶へ取り組み強化を決議

7年中33件の飲酒事案

全日本トラック協会は2月4日、第126回「交通対策委員会」を開催し、トラック運送業界における飲酒運転事案が依然として深刻な状況にあるとして、「飲酒運転根絶に向けたトラック運送業界の取り組み強化について(決議)」を決議(原文別掲)し、改めて業界が一丸となった取り組みを強化する方針を示した。

国土交通省が策定した「総合安全プラン2025」においては「飲酒運転ゼロ」を目標とし、また、今後の5か年計画での次期総合安全プランの策定においても、当然のことながら飲酒運転ゼロが必達目標であり、トラック運送業界においても目標達成に向け、ドライバー等に対する各種啓発活動を展開し、その再発防止に積極的に努めている。5年が35件、6年が30件と、高止まりの状況が続いている。同委では、各県ト協の取り組み状況を報告し、再発防止策について協議した。

状況が続いている。同委では、各県ト協の取り組み状況を報告し、再発防止策について協議した。



全ト協

ツク運送業界は「安全で安心な輸送サービスを提供し続けること」が社会的使命であり、常に「安全」を最優先課題と位置づけ、事業展開をしています。

しかしながら、事業用トラックが関係する飲酒運転事案は依然として後集計によれば令和6年中には30件もの飲酒事案が判明し、令和7年中には33件(速報値)もの飲酒



国交省、ピーク時期の混雑回避を

ら、ピーク時期の混雑回避が利用者に大きなメリットになる。今春は特に、3月14日から4月5日にかけて混雑が予想される。

国交省は、例年引越が集中し、混雑が激しい3・4月の引越時期の分散化に向けたチラシ(写真)を作成・配布し、広く利用者に対して協力を呼びかけている。春の人事異動や入学・転職シーズンでの引越件数は通常月の約2倍になることか

国交省 自動運転社会実現本部 自動運転社会の早期実現へ



国交省は1月22日、第1回「国土交通省自動運転社会実現本部」(本部長・金子恭之国土交通大臣)会議を開催した。同本部は、自動運転社

ことで、この業界の社会的信頼性は著しく失墜してしまいます。

このような状況に鑑み、飲酒運転という反社会的行為の根絶を図るため、第126回交通対策委員会では、業界全体として下記事項を共有するとともに、関係者一丸となって取り組みを強化することにより、この業界から飲酒運転を根絶することを決議する。

また、引越事業者の選別で悩んだ場合には、安全・安心な引越サービスを提供すると全ト協が認定した「引越安心マーク(引越事業者優良認定制度)」の事業者を利用するよう呼びかけている。

1. 各事業所においては、所属の全てのドライバーからの飲酒運転しないことの宣誓書の署名活動などを展開し、飲酒運転根絶を図る。

区内で交通規制

品川区・警視庁は3月8日、「しながわシティラン2026」開催に伴い、区内のコースおよび直近道路で午前8時30分から11時まで交通規制を行う。

スタート地点(しながわ区民公園)から旧東海道経由で品川ふ頭橋を折り返し地点とし、京浜運河緑道経由でフィニッシュ地点(大井競馬場)まで、順次交通規制を実施する。コースおよび周辺道路では、車両の通行が禁止される。詳細は、しながわシティラン2026特設サイトを参照。

持続可能な食品等流通緊急対策事業

農水省は、卸売市場の運行実態や物流現場の課題を把握するためのアンケート調査を実施している。持続可能な食品流通インフラの構築

アンケート調査実施

農林水産省は、卸売市場の運行実態や物流現場の課題を把握するためのアンケート調査を実施している。持続可能な食品流通インフラの構築

2. 飲酒運転根絶を図るため、アルコール検知器が正しく使用できることの再確認と併せ、アルコール検知器による酒気帯びの有無の確認の徹底を図るとともに、アルコールインターロック装置の徹底を図る。

運行管理者試験テキスト

【貨物編】
過去の問題の解説と実践模擬問題
【過去の問題 100問 + 模擬問題 30問】
定価 2,640円(税込)

令和7年版
(7月刊行) **自動車六法**
定価 7,700円(税込)

株式会社 輸送文研社(柏林書房)
TEL03-3861-0291 FAX03-3861-0295



二次元コード

トラック運送業 「労務管理のポイント」

NACマネジメント研究所 所長
小林 弘和(社会保険労務士)

今回は、前回に引き続き、人事
労務管理関連の法改正の概要につ
いて解説します。



1. 労働基準法改正案について

本紙前々号(1月10日号)に取り上げた労働基準法の改正案は、当初今年の通常国会への提出が予定されていたが、今回は提出が見送られました。今後は引き続き、労働政策審議会等での議論が行われ、その後に法案が提出されるものと考えられますが、これにより、今年4月1日からの改正法施行はいつたに行われないことになりました。

2. 子ども・子育て支援法等の改正

社会連帯の理念を基盤に、子どもや子育て世帯を全世代・全経済主体が支える新しい分かち合い・連帯の仕組みとして、今年4月から「子ども・



4. 労働施策総合推進法の改正

今回の法改正では、職場外からのハラスメント、いわゆるカスハラ・ハラスメント(カスハラ)と採用段階におけるハラスメントが新たに法的義務の対象に加えられることとされています。

3. 障害者雇用促進法の改正

今年7月以降、民間企業の障害者法定雇用率は、現在の2・5%から2・7%に引き上げられます。これに伴い、障害者の雇用義務が生じる事業主の範囲は、常時40人以上の労働者を雇用する事業主から、常時37・5人以上の労働者を雇用する事業主へと拡大されます。ただし、道路貨物運送業については10%の除外率が適用されているため、常時42人以上の労働者を雇用する事業主が対象となります。また、障害者の雇用義務がある事業主は、毎年6月1日時点での障害者雇用状況をハローワークへ届け出なければならぬ義務があら

は、採用選考過程にある求職者・内定者・インターンシップ参加者も対象に含まれます。採用面接時やインターンシップの場における、求職者や内定者に対するセクハラ(就活セクハラ)を防止するため、事業主には雇用管理上、必要な措置を講じることが義務づけられます。

また、これまでのセクシュアルハラスメント(セクハラ)対策は、主に在職中の労働者を対象と

ハラを防止するために必要な措置を講じることが、事業主の義務となります。具体的な措置の内容等は、次の通りです。

①事業主の方針等の明確化およびその周知・啓発(例：面談時のルールをあらかじめ定めておくなど)

②相談体制の整備・周知

③発生後の迅速かつ適切な対応(例：相談への対応、被害者への謝罪等)

さらに、カスハラおよび求職者等へのハラスメントについて、国、事業主、労働者、顧客等のそれぞれの義務も明確化され、これらのハラスメントは行ってはならないものと位置づけられました。

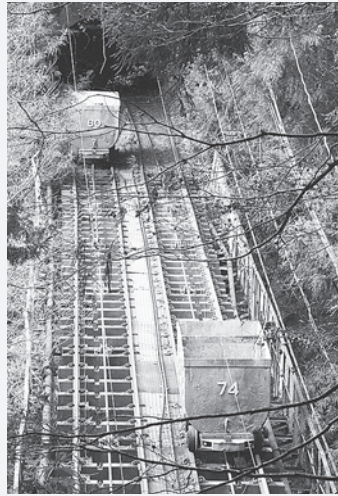
事業主・労働者・顧客等の責務として、他の労働者に対する言動に注意を払うよう努めなければならぬものとされています。

加えて、国の責務として、職場におけるハラスメントを行ってはならないとの規範意識を、国民に浸透させるための啓発活動を行うことも定められています。

今後、必要に応じて法改正情報を提供していきますが、今年4月以降は、いよいよ「物流の2024年問題」への対応状況について、行政庁による臨検・調査が実送事業主に対して実施される予定です。改めて、その対応に関して再確認を行うようにしてください。

また、これまでのセクシュアルハラスメント(セクハラ)対策は、主に在職中の労働者を対象と

山間のトロッコ



まちかど写真家 筑峯 総太

を目的に奥多摩電気鉄道が設立され、鉄道を敷設したが、開業からほどなくして国に買収され、青梅線として現在に至る。なお、鉄道による貨物輸送は、1998(平成10)年にその役目を終えた。

奥多摩駅のホームに降り立つと、山肌に取り添うように奥多摩工業のプラントが要塞のごとく鎮座している。氷川小学校を横目に山道を進むと、杉林の切れ間から鉄橋と鉄路が見えてきた。石灰石を工場へ運ぶための曳鉄線で、ケーブルに引かれた台車が鉄路を行き来する(写真)。

その風景を目の当たりにすると、ここが東京であることを忘れてしまふほどだ。

奥多摩湖を懐に溪谷を抱え、インバウンド効果も相まって、ハイクーの姿も多い。山間に残る無人トロッコのたずまいは、隠れた奥多摩の珍名所といえる。

新宿から中央線で立川を経て下ること約1時間40分、終着の奥多摩駅に到着する。青梅を過ぎると路線環境は一転し、青梅線の列車は山間部を縫うようにして駆け上がって行く。奥多摩駅は都内で最も西に位置し、標高は343m。都内にあるケーブルカーを除いた鉄道駅では、最も高い場所に位置する。同駅は、1944(昭和19)年、

ポケット

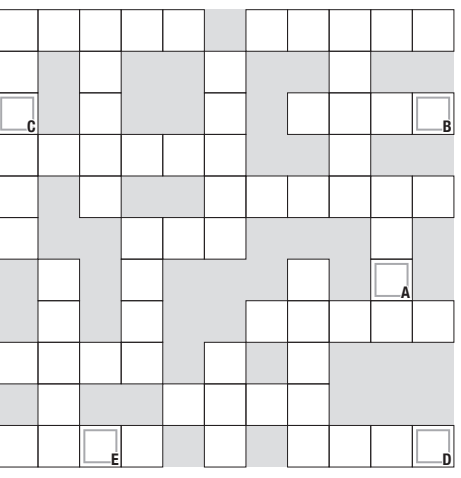
部に当たる「氷川」は、かつて神奈川県西多摩郡氷川村だったが、町制施行や合併を経て、奥多摩町が発足した。地名は現在も大字(氷川)として残る。

奥多摩といえば、現在も石灰石の採掘が盛んなエリア。浅野セメントが日原地区に露出した石灰岩層を整備し、セメント原料の供給源として、鉱床帯の山林を買収したのが始まりだ。その後、京浜地区への石灰石輸送



スケルトン

リストの言葉を盤面に埋めてください。言葉はすべて「上から下」または「左から右」に入ります。完成後、解答欄にできる言葉が答えです。



- 3文字
コユキ(小雪)
ユキヨ(雪夜)
- 4文字
コナユキ(粉雪)
シンセツ(新雪)
セキセツ(積雪)
タイセツ(大雪)
ハツユキ(初雪)
ユキカキ(雪かき)
ユキムシ(雪虫)
- 5文字
ササメユキ(細雪)
シュンセツ(春雪)
ボタンユキ(牡丹雪)
ユキシグレ(雪時雨)
ユキツバキ(雪椿)
ユキノシタ(雪の下)
ユキボウシ(雪帽子)
ユキマツリ(雪まつり)
- 6文字
シラユキヒメ(白雪姫)
ユキガッセン(雪合戦)
ユキゲショウ(雪化粧)

※小さい「ユ」などは大きな「ヨ」などと同じものとして扱ってください。

【解答欄】	A	B	C	D	E

応募方法 官製はがきに、①答え②あなたの郵便番号・住所③会社名④氏名⑤年齢⑥本紙へのご意見・ご要望を明記し、お送りください。正解者の中から抽選で3名様に図書カード(1,000円分)をプレゼント。
☆インターネットでの応募も可能です。
https://www.totokyo.or.jp/
☆インターネット応募の場合、解答フォームをご利用ください。東協HPトップ「会員の皆様へ」をクリックし、「東京都トラック時報」から「パズル&クイズ解答フォーム」へ。
●宛先(はがき応募の場合)
〒160-0004 新宿区四谷3-1-8
(一社)東京都トラック協会
総務部広報・情報G「トラック時報」係
●締め切り
2月末日(正解は3月10日号に掲載)
★1月10日号「初春間違い探し」の正解は「9か所」でした。

目次

2月早々、「義理チョコ」なるものをいただいた。2月14日はバレンタインデー。いまだ日本では、様変わりしつつも、手を替え品を替え、熱い商戦が展開されている◆チョコは、産休に入るS子さんが部署の仲間に手渡してくれたもの。可愛いパッケージデザイン裏面には「有機チョコレート」と記され、「フェアトレード商品」の印もあった◆開発途上国の生産者や労働者から原料・製品を「適正価格」で継続的に購入する「公平・公正な貿易の仕組み」が「フェアトレード」。「国際フェアトレード認証ラベル」が目印で、安心・安全な美味しいチョコを選べて、生産者を支援できるのが魅力である◆映画「ショコラ」を思い出す。村の人々が、母娘が売る不思議な美味しさのチョコに魅了され、心を解きほぐされていく物語だ。実際、古代マヤ人はカカオが「心の扉を開く」と信じていた。確かにカカオには気分を高揚させ、幸福感を促進する物質が含まれているようだ◆作る人たちにも、食べる人たちにもやさしいチョコを選んでくれたS子さんは、思いやりのあるお母さんになることだろう。